

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東洋電産株式会社 愛鷹工場	階数	2
建設地	静岡県沼津市宮本字元野243番6	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	13 人
地域区分		年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年8月 0.0	評価の実施日	2020年8月27日
敷地面積	13,389 m ²	作成者	相模 明
建築面積	2,378 m ²	確認日	2020年9月30日
延床面積	2,699 m ²	確認者	相模 明



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 52%
③上記+②以外の 52%
④上記+ 52%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

3 設計上の配慮事項		
総合 これは、CASBEE静岡2016年版による評価である。 十分な面積の緑地を敷地境界側に配置し、また、調整池を計画し、敷地外の環境を守るよう配慮した。また、太陽光パネルを利用することで、建築物全体のBEImを0.29に抑え、一次エネルギー消費を大幅に削減した。		その他 東洋電産は、アルミニウム casting 製品や、電気機器を生産する会社であり、愛鷹工場でも上記の製品を生産しています。
Q1 室内環境 事務室において、'ブラインド'や'庇'の両方を取り付け、平均照度の高い照明を採用する事により、昼光環境の向上に配慮した。	Q2 サービス性能 工場(倉庫)部分において、10,500Nの荷重に耐えるよう構造設計をした。 また、大庇を設け、作業環境を向上させ、ホチ・犬走・横断歩道を設け、建築物へのアプローチが安全になるよ	Q3 室外環境(敷地内) 外構緑化指数26%になるように緑地を確保し、良好な環境を形成した。また、空地率85%を確保し、暑熱環境を緩和した。
LR1 エネルギー 太陽光パネルを利用することで、建築物全体のBEImを0.29に抑え、一次エネルギーの消費を大幅に抑えた。	LR2 資源・マテリアル 節水の為、建築物内の便器は超節水型便器を採用した。また、躯体以外の材料において、リサイクル材を2つ(リサイクル砕石、残土再利用)採用した。	LR3 敷地外環境 風が通りやすいよう、隣等間隔指数8.24を確保し、風が回復しやすいようにした。また、地表対策面積率26%になるように、敷地外周に緑地を計画し、敷地外への熱的な影響を低減した。 外部物置等を使い、ゴミの多種分別が可能スペース及

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される